

第1編 研究の基礎

【目次】

第1章 第13次沼田市教育水準向上研究推進計画<第2年次>	1.
第2章 研究経過の概要	5.

第1章 令和7年度 第13次沼田市教育水準向上研究〈第2年次〉推進計画

1 研究主題

社会の変化に主体的に関わり、未来社会を生き抜く力を身に付けた子供の育成

2 主題設定の理由

本市では学習指導要領の趣旨を踏まえ、第12次までも、育成を目指す3つの資質・能力（「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」）から、「指導の重点」を示して教育水準の向上を目指し取り組んできた。

幼稚園では学びの連続性を踏まえ、幼児が主体的に遊ぶ中での環境の再構成や援助の工夫、体力向上の推進等を図ってきた。また各学校では、「確かな学力」の向上のために、質の高い学びの実現を目指し、授業づくりの考え方や指導方法の改善に努めてきた。特に、1人1台端末等のICT活用や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、「学び合い」と「振り返り」を大切にされた授業実践が積み重ねられてきた。そして、生徒指導においては、学校園全体での情報共有や組織的な対応、児童生徒主体のいじめ防止活動を重視した取組が行われ、健康な体の育成については、運動の機会づくりや家庭との連携、生活習慣と関連させるなどの取組が図られた。コロナ禍においても各学校園で工夫した取組が行われ、成果が上げられたと考える。

しかしながら、小・中学校では、全国学力・学習状況調査や各種学力検査等の結果を見ると、教科によっては市全体で数値が低下していたり、授業中に自分の考えを発表する際、自分の考えをうまく伝えられるように資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することに課題が見られたりする。また、様々な要因が複雑に絡み合い、不登校児童生徒が増加していたり、家庭での学習が困難で、学習習慣が十分に身に付いていなかったりする子供たちが増えているなどの現状がある。さらに、今後、少子化や高齢化が進む中、本市の将来を担う子供たちには、郷土に誇りと愛着をもって、地域文化を受け継いでいくことが求められている。

第13次では、これまでの取組や成果を踏まえ、学習指導要領で目指す「生きる力」を「社会の変化に主体的に関わり、未来社会を生き抜く力」と捉え、本市の「未来を担うたくましいひとづくり・まちづくり」の基本理念のもと、目指す子供像を意識した研修主題とし、「生きる力」を身に付けた子供の育成、そして、たくましく生きる力を育む学校教育の充実を一層図りたい。また、引き続き「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を3つの柱とし、それぞれに「指導の重点」を示し、各学校園で重点を置いて取り組んでいくこととする。

これらの指導に当たって、幼児教育では、子供達が自分で発見する喜びをもって楽しく「遊びをつくる」ことを促すことにより、全ての学びの基礎となる好奇心や探究心などを育てていく。学校教育では、確かな学力を育てる質の高い授業づくりを推進するとともに、子供たち一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばす支援を行うことにより、課題に対して主体的に考え、他者と協働しながら粘り強く解決に向かっていく学びの中で、挑戦する姿勢や変わりゆく状況に柔軟に対応できる資質・能力を育成していく。また、各学校園では、個々の状況に応じたきめ細やかな支援や多様な学びの場を提供することや、支援を要する全ての子供が共に学び合うことができる教育環境を通じて、一人一人の多様性を尊重し、その可能性を最大限に伸ばす教育を実践していくことが必要となる。さらに、学校と地域がパートナーとして連携・協働するコミュニティ・スクールの取組や、総合的な学習の時間を中心とした「ぬまた未来創造学」の推進、教育部活を踏まえた部活動の地域展開など、これまで以上に家庭や地域、関係機関との連携・協働に努め、社会全体で子供たちの成長を支えていくことが大切になる。そして、予測困難な時代であっても、子供たちが「自律」し、家庭や地域と共に育っていけるよう、教育実践に努めていきたい。

以上のような観点に立って、全市的に研修を推進することにより、社会の変化に主体的に関わり、未来社会を生き抜く力を身に付けた子供を育成することができると考え、本主題を設定した。

3 研究目標

第13次教育水準向上研究推進計画を基に、市教委及び各学校園が自主的、組織的に研究実践することにより、社会の変化に主体的に関わり、未来社会を生き抜く力を身に付けた子供の育成に努め、たくましく生きる力を育む学校教育の充実と、本市教育水準の向上を図る。

4 指導の重点

各学校園の実践において、以下の重点（【表1】）に取り組むこととする。

【表1】

確 かな 学 力	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の基盤となる「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力等」や現代的な諸課題に対して求められる資質・能力を育成するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組む。特に、市教委作成の「学力向上対策」について全ての教員で共通理解を図り、「学び合い」と「振り返り」を大切にした授業の質的改善を目指す。 ○一人一台端末等のICT環境を効果的に活用し、子供たちの能力を最大限に引き出す授業を行い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。 ○学力検査等の分析や日常の的確な実態把握に基づく、各教科における個に応じたきめ細やかな指導の充実を図る。
豊 かな 心	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育推進教師を中心とした指導體制の整備の推進を図り、教育活動全体を通じた道徳教育及び「特別の教科 道徳」の充実努める。 ○「ぬまた未来創造学」を踏まえ、生活科や総合的な学習の時間を中心に、各学校で地域の伝統文化や歴史を学び、豊かな自然に触れる学習を計画的・系統的に実施し、子供たちが郷土を知り、郷土を誇りに思う心を育む。 ○児童生徒が多様性を認め合う人権教育の充実を図るとともに、社会で自立するための基礎的な能力や態度の育成に努める。
健 や かな 体	<ul style="list-style-type: none"> ○心身の健康の保持増進を図るための健康教育の計画的な推進と充実及び感染症対策等の徹底 ○「体力向上プラン」を踏まえ、教科体育を核とした運動やスポーツに対する関心や意欲の向上を図る取組の推進 ○中学校における部活動の適切な指導の実施及び地域や学校の実情に応じた持続可能な地域展開の推進

5 研究の推進

(1) 市教育委員会

ア 各年次の企画・運営・評価等

教育長の指導の下、学校教育課長、教育支援係長、指導主事が中心となり、校長会協議会、園長会議、教育水準向上研究推進委員会等の意見を参考にしつつ、各種研修事業の企画・運営・評価、全市的な成果と課題のまとめなどを行う。

(2) 各学校園における推進

ア 研究主題の設定

市の主題、目標に基づき、各学校園における緊要な課題について討議し、各学校園の教育目標達成を目指した適切な研究主題を設定する。

イ 研究推進委員会の組織と運営

校（園）長の指導の下、各学校園が実情に即して研究推進委員会等を設け、組織的、効率的に研究実践を推進する。組織は学校運営機構に適切に位置付けられるように配慮する。

ウ 研究推進計画の策定

各学校園の教育目標達成を目指して設定した研究主題に基づき、創意工夫した学校経営を展開する中で研究に取り組み成果がまとめられるように、推進計画を立てて実践する。

エ 研究推進と総括・反省

以上の推進計画に基づき、主体的・組織的な研究を進め、1月下旬までにその成果を研究報告書にまとめ、市教育委員会が作成する市研究紀要「沼田市の教育」の原稿として、市教育委員会に提出する。

オ 研究成果の活用

「沼田市の教育」を教育実践に活用し、幼児・児童・生徒の人間関係形成に役立てるとともに、各教員の教育実践の指針とし、反省の資料とする。

(3) 教育水準向上研究推進委員会

校長会協議会代表者2名、教頭会代表者2名、教育水準向上研究授業研究会会場校より研修主任各1名、事務局6名等で構成する。年3回程度開催し、教育水準向上研究の推進に係る諸施策等を協議するとともに、その評価等を行い、研究推進の改善・充実に資する。

(4) 沼田市教育研究所

該当する各学校より選ばれた教育研修員により、個人研究を行う。原則として、教育研修員は、小中学校3名ずつとする。各自、市の主題を踏まえて研究主題を設定し、研究実践を行う。

(5) 各種研修会

ア 「『沼田市・先生の日』幼小中学校教職員全体研修会」を開催し、第13次沼田市教育水準向上研究についての説明を行う。

イ 7月下旬頃「学力向上対策フォーラム」を開催し、学習指導要領の具現化と指導力の向上による授業改善を図る。

ウ 「沼田市教育水準向上研究授業研究会」を実施し、第13次教育水準向上研究に係る学校教育の重点の具体化を図る授業の在り方を研究するとともに、市教育水準の全体的な向上を図る。会場校は研究会に向け、市教育委員会と連携を図って研究を推進する。（「2025学力向上対策」を踏まえた各校1授業の公開）

エ 「沼田市教育研究所成果発表会」を実施し、個人研究による研究の成果と課題を各学校園に広め、市教育水準の全体的な向上を図る。

オ 「沼田市幼保こ小関連教育推進事業研究会」を実施し、義務教育と就学前の教育・保育との連携の充実を図る。

6 研究計画 ※第13次教育水準向上研究は、令和6年度～令和8年度までの3年間

令和6年度<第1年次> 子供の実態等確認・指導の重点の絞り込みと実践

令和7年度<第2年次> 子供の実態等に応じた指導の重点に基づく実践

令和8年度<第3年次> 第2年次までの成果と課題を踏まえた実践とまとめ

＜研究主題＞

社会の変化に主体的に関わり、
未来社会を生き抜く力を身に付けた子供の育成

確かな学力

- 「学び合い」と「振り返り」を大切にした授業の質的改善
- 1人1台端末等のICTを効果的に活用した、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や探究的な学習活動の充実
- 学力検査等の分析に基づき、各教科における個に応じたきめ細やかな指導の充実

豊かな心

- 道徳教育推進教師を中心にした指導体制の整備、教育活動全体を通じた道徳教育の推進、「考え・議論する」道徳の時間の高質的な充実
- 「ぬまた未来創造学」の推進
- 多様性を認め合う人権教育の充実

健やかな体

- 「体力向上プラン」を踏まえ、教科体育を核とした取組の推進
- 子供の危険予測・回避能力を高めるための実効的な安全教育の推進
- 部活動の適切な実施、「心＝道徳面」の成長を重視した、道徳的実践の場とする活動の充実、地域家庭と連携した、休日部活動の地域展開

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

学校（幼稚園）経営の充実

- 学びの連続性を踏まえた幼小中連携の充実
- カリキュラム・マネジメントの充実
- 校（園）内研修の計画的な実施

家庭や地域社会・専門機関等との連携

- コミュニティ・スクールの取組により、家庭や地域社会と連携・協働した教育課程の編成・実施・評価（社会に開かれた教育課程の実施）
- 地域の人的・物的資源の積極的活用
- 専門性をもった関係機関との連携や組織的・協働的な課題の解決

教育研究所

- 資質向上に資するための実践的な班別研修の推進
- 「教育支援センター（きずな）」「ことばの教室」における支援体制の確立

第2章 研究経過の概要

1 令和6年度（1～3月）

月 日	研 究 事 業 等	研 究 内 容 等
1. 9	1月 定例校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
1. 14	第4回 幼稚園長会議	○第3回以降の特記事項についての報告 等
1. 16	国際交流事業説明会	○来年度の国際交流事業について
1. 17	第3回教育水準向上推進委員会	○今年度の成果と課題、次年度の計画等について
1. 21	教育研究所第二次検討会	○研究のまとめの検討
1. 22	第9回 教 頭 会	○班別研修 等
1. 23	沼田市いじめ防止子ども 会議	○いじめ防止に向けて各校の児童生徒による班別協議 「いじめのない学校を目指して～SNSに関するトラブルについて考えよう～」
1. 24	教務主任会	○教育課程及び学事等について
2. 4	2月 定例校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
	教育研究所論文審査会	○論文・実践記録審査
2. 14	沼田市通学路安全推進会議	○今年度の通学路点検におけると取組状況の報告について
2. 19	第10回 教 頭 会	○教頭会研究のまとめ 等
2. 21	教育研究所修了式 成果発表会	○修了証書授与 ○令和6年度研究成果の発表
<p>◆小学校班の研究</p> <p style="padding-left: 20px;">ふるさとのよさや課題に気付き、自分にできることを考え、実行できる児童の育成 ～体験的学習とシンキングツールを取り入れた総合的な学習の時間における実践を通して～</p> <p>◆中学校班の研究</p> <p style="padding-left: 20px;">地域に愛着をもち、主体的に地域のもの・人・ことに関わろうとする生徒の育成 ～「ぬまた未来創造学」における探究的な学習の実践を通して～</p>		
2. 25	第2回学校経営ヒアリング	○本年度の学校経営の評価、反省と今後の課題について
2. 27		○学校教育指導の重点と各学校の取組
3. 4	3月 定例校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
3. 7	第11回 教 頭 会	○本年度の反省と次年度の展望、行事日程

2 令和7年度（4月～1月）

月 日	研 究 事 業 等	研 究 内 容 等
4. 9	4月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
4. 1 0	第1回 幼稚園長会議	○令和7年度園務分掌、4月の特記事項について 等
	第1回 教 頭 会	○令和7年度組織編成、研究主題・計画について 等
	英語主任等会議	○A L T訪問計画調整、情報交換 等（書面開催）
4. 1 1	教育研究所委嘱状交付式	○辞令交付 研究の進め方について 等
4. 1 6	生徒指導主事・主任会議	○生徒指導の重点、生徒指導に関する情報交換 等
4. 1 8	研 修 主 任 会	○令和7年度の各校の取組について情報交換 等
4. 2 2	「沼田市・先生の日」 幼小中学校教職員全体研修会	○全体研究会 令和7年度沼田市教育行政方針についての確認 等
4. 3 0	第1回学校経営ヒアリング	○令和7年度の市教育委員会の取組と学校・園運営
5. 2		○学校教育指導の重点と各学校・園の取組
5. 7	5月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
5. 1 3	第2回 教 頭 会 (郡市合同研修会)	○講話 利根教育事務所 所長 角田 巧
5. 1 4	第1回 教育支援委員会	○事業報告、予算承認 等（年間7回開催）
5. 2 0	第1回 教育水準向上推進委員会	○令和7年度の教育水準向上研究の推進について
6. 3	6月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
6. 1 2	第3回 教 頭 会 (郡市合同研修会)	○講話 利根教育事務所 管理主監 永島 芳信
6. 2 4	教育研究所第1次検討会	○各研修員の研究テーマの検討
7. 3	7月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
7. 8	沼田市中学校国際交流事業 オンラインプログラム①	○フィリピン在住の中学生及び現地外国人コーディネーターとオンラインによる交流プログラムを実施
7. 9	沼田市中学校国際交流事業 オンラインプログラム②	
	第4回 教 頭 会 (郡市合同研修会)	○講話 利根教育事務所 管理主事 角田 厚

7. 1 0	沼田市中学校国際交流事業 オンラインプログラム③	○フィリピン在住の中学生及び現地外国人コーディネーターとオンラインによる交流プログラムを実施
7. 1 1	沼田市中学校国際交流事業 オンラインプログラム④	
7. 2 3	第1回 学校経営研修会	○講話 沼田市教育委員会 教育長 竹之内 篤 (全3回開催)
7. 3 0	沼田市夏季研修会 (学力向上対策フォーラム)	○「2025学力向上対策」における成果や課題の把握 ○授業改善に向けた指導及び提言

9. 2	9月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
9. 3	第2回 教育水準向上推進委員会	○授業研究会、「沼田市の教育」等について
9. 4	第2回 幼稚園長会議	○第1回以降の特記事項についての報告 等
9. 9	第5回 教 頭 会	○班別研修の概要報告、情報交換 等
9. 1 6	教育研究所第2次検討会	○各研修員の間中検討
1 0. 7	10月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
1 0. 1 0	第6回 教 頭 会	○研究主題に基づく各校の情報交換 等
1 0. 1 2	中学生のための大学講座 (数学)	○講義・演習「分割数のふしぎ」 東京大学大学院数理科学研究科 小木曾 啓示 榎園 誠 大島 芳樹
1 0. 3 1	幼保こ小関連教育推進事業	○授業公開 (沼田小学校 1年1組・1年2組) ○講演「非認知能力、幼保こ小の接続」 共愛学園前橋国際大学短期大学部 教授 永井 広子
1 1. 5	11月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
1 1. 1 1	第7回 教 頭 会	○研究主題に基づく各校の情報交換 等
1 1. 1 3	教育水準向上研究 授 業 研 究 会①	○中学校部会 沼田南中学校 池田中学校 薄根中学校 利根中学校
1 1. 2 1	教育水準向上研究 授 業 研 究 会②	○小学校部会 池田小学校 白沢小学校 利根小学校 多那小学校

12. 3	12月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
12. 7	中学生のための大学講座 (理科)	○実習・講義「自然災害と地域のかかわりを学ぶ ～マイ・タイムラインをつくろう～」 群馬大学大学院理工学府 技術院
12. 9	第8回 教 頭 会	○班別研修の概要報告、情報交換 等
1. 9	1月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
1. 14	第3回 幼稚園長会議	○第3回以降の特記事項についての報告 等
1. 15	国際交流事業説明会	○来年度の国際交流事業について
1. 16	第3回教育水準向上推進委員会	○今年度の成果と課題、次年度の計画等について
1. 20	教育研究所第3次検討会	○研究のまとめの検討
1. 22	第9回 教 頭 会	○講義「ヤングケアラーの理解について」 等
1. 23	教 務 主 任 会	○教育課程及び学事等について
1. 29	沼田市いじめ防止子ども 会議	○いじめ防止に向けた協議 「良好な人間関係づくりについて」